

## 【コンセプト①】子どもの成長力を‘えんぱわ’する ～発達ファーマーになりたい

木を育てる時

早く・大きく育てたいからと、苗木を直接引っ張っても大きくすることはできない

木が成長する時、必要なのは、土・光・水

それらを適切な時に、適切な量を、適切な回数、与えると木は自分の力ですくすく育っていく

土・光・水・・・その適切な時・量・回数が

「いつ、どの程度、何回か」は、1つ1つの植物それぞれ、みな違うそれらの「適切」を予測し、整え、育つのを待つ

ただただ待つだけでよい・・・時もあれば

違う方向に伸びた枝を払う必要のある・・・時もある

それも常に予測し、必要な剪定や植え替えを行い

木自身が持つ「大きくなろう」という力を、めいっぱい活かしていく

すると、いつか・・・

どんな木も、きれいな花を咲かせ、実をつけ、美しい木になる

個性豊かな木が、たくさんあふれる街をめざして

～ピーすは、発達ファーマーになりたい

